

まちの日記帳



陶器づくりにチャレンジ！

5/19

第1回少年教室「陶芸教室」が総合文化センターで行われ、町内小学校児童32人が陶器づくりにチャレンジしました。

参加者は、2人の講師の指導のもと、粘土をこねた後、手びねりで形を整え、好みの形づくりに苦戦しながらも丁寧に取り組み、皿や茶碗など思い思いの作品づくりに励んでいました。



年に一度のお楽しみ！

5/23

今年第2回目のリフレッシュ学級で札幌方面への見学旅行が行われました。

天候にも恵まれた今回は、この研修を楽しみにしていた18人の学級員が参加し、札幌市のサンピアザ水族館を見学しました。

ラッコやペンギン、流氷の天使とも呼ばれるクリオネなど水槽の中の色鮮やかでかわいい魚たちを前に、参加者は時の経つのも忘れ見入り楽しい見学旅行となりました。



海難事故を防ごう！

5/24

春期漁業の盛漁期を迎え、北海道海域周辺で各種漁業の活発な操業が行われている中、(社)北海道漁船海難防止・水難救済センターは、「春期漁船海難防止強調運動」期間に合わせ、海難防止パレードを行いました。

パレードは、同センターのほか、後志支庁や海上保安部、漁協、町職員など10人が参加、町内の各漁港を巡回し、漁業者などに対して風船やポケットティッシュなどを配布しながら海難事故防止を呼びかけました。



今年の「良い歯」は146人！

6/6

「積丹町子どもの歯を守る会（尾立光会長）の主催により「第20回よい歯の子・第17回8020表彰式」が町総合文化センターで行われました。

今回表彰されたのは、幼児31人、小学生78人、中学生31人の合わせて140人。そのうち、健全歯（1本の虫歯もない子）は29人でした。

また、80歳以上で20本以上自分の歯を持っている8020表彰式では、今年度6人の方々表彰されました。



優勝目指しアタック！

6/6

町教育委員会主催による第18回町内ソフトバレーボール大会が海洋センターで開催されました。

8チーム総勢39人が参加した今大会、各チームとも優勝を目指して熱戦が繰り広げられました。なお、大会結果については、次のとおりです。

【優勝】 チームマルチョウ（代表 藤木和歌子）

【準優勝】 ムー一族（代表 郷六奈津子）

【第3位】 久慈一族（代表 久慈 仁）



広々した牧場でのびのびと！

町営牧場での放牧が始まり、現在親牛46頭、子牛77頭の合わせて123頭が放牧されています。

冬の間、狭い牛舎で窮屈そうにしていた牛たちは広々とした牧場に解放され、のんびりと牧草を食べながら快適な毎日を送っています。

この放牧は、10月下旬ごろまで続けられる予定で、秋には大きく育った牛たちに成長していることでしょう。

